

東日本大震災の復興支援への取組み状況の報告

報告日：平成 23 年 5 月 30 日

支部・部会・実行委員会・登録グループ名
水産部会

責任者名 / 報告者名

部会長 村上正信

取組みの状況（検討状況、予定等含む）2,000 字以内

1. 部会対策会議の立ち上げ、趣旨

東日本大震災からの水産業の復興、魚介藻類の安全確保の支援・実践する会員に、情報面・安全面での支援を目的として、次の会議体を時限的（2 年）に運用する。情報面では体系化・分析された情報の提供し、安全確保の為に連絡体制確保などの支援を行なう。

名称を【水産関連産業復興・魚介藻類安全対策会議】（水産復興・魚介藻類安全会議）として、偶数月、第一水曜（原則として）の 18:00～20:00 に開催。部会役員、外部講師（含む他部門会員）、部会員で構成する。議事は、部会・他部会の知見（現状調査、法制度、専門技術）の収集、体系化された最新情報の提供、部会員の安全情報の把握、行政・産業界機関への提言や地域での取り組み支援を視野にいれ協議すると共に、公衆へのリスクコミュニケーションの検討を行う。

収集された情報や講演資料は体系化して、同報メールシステム（添付ファイルは不可）ならびに部会 Web サイトを通じて部会員各位にご案内する。

2. 経緯等

- 4/1 第一回 幹事会：対策会議の必要性、あり方の検討
- 4/22 第二回 幹事会：対策会議の議事、運営に関する検討
- 5/14 水産部会 総会：対策会議立ち上げ承認（年度計画）
- 6/15 第一回水産振興・魚介藻類安全会議（予定、以降、偶数月開催）

3. 学協会等との連携

- 3/29 日本水産学会 臨時場勉強会 参加
- 4/28 大日本水産会 第 7 回東日本大震災対策会議 派遣
- 5/19 大日本水産会 第 8 回東日本大震災対策会議 派遣
- 6/17 日本水産工学会ワークショップ 共同開催（予定）

4. 部会への報告等

- 4/27 被災状況報告（大津、釜石、大槌）岡野幹事：
- 4/28 被災状況報告（塩釜）丹羽幹事
- 5/14 被災状況報告（南三陸町、釜石、大船渡市、陸前高田）関根幹事
- 5/14 被災状況報告（大船渡市、製造時業者）阿部幹事

大日本水産会 / 東日本大震災対策本部：全漁連、日本かつお・まぐろ漁業協同組合、全国近海かつお・まぐろ漁業協会、全国まき網漁業協会、全国底引網漁業連合会、日本トロール底魚協会、全国遠洋沖合いかつり漁業協会、全国さんま漁業協会、全国中央市場水産卸協会、全国水産加工業協同組合、全国漁港漁場協会、漁船保険中央会、日本定置漁業協会、海洋水産システム協会、海外まき網漁業協会、漁業信用基金中央会、全国蒲鉾水産加工業協同組合、全国水産養魚協会